

# ひょうご農地・水ニュース

今年度も農業の基本となる農地や水路、さらには美しい景観、豊かな生きもの、綺麗な水を守り育む地域ぐるみの活動が県下各地で熱心に行われました。

ひょうご農地・水ニュースでは、この一年の各地域の話題やイベント等をご紹介します。

また、平成28年12月10日には、9回目となる「ひょうご水土里のふるさとフォーラム」が兵庫県公館で開催され、県内外から農地・水保全管理活動関係者や都市住民など大勢の参加がありました。



## 兵庫県多面的機能発揮推進協議会 ホームページ

<http://hyogo-nouchimizu.com/>

イベント情報や農地水ニュース等、たくさんの情報を入手でき、事務に係る各様式のダウンロードも行っています。



スマホでQRコードを  
読みしてください。



## contents

- P.2～3 第9回ひょうご水土里のふるさとフォーラム 報告
- P.4 兵庫県民農林漁業祭に出展しました！（神戸地域）／生きもの教室（西播磨地域）
- P.5 多面的機能支払 東播磨・北播磨地域 活動発表会（東播磨・北播磨地域）
- P.6 第54回淡路農林水産祭（淡路地域）／のぼりを作成しました！
- P.7 平成28年度 豊かなふるさとづくり推進委員会（現地調査）
- P.8 各種研修会を実施しました！
- P.9 安全管理の徹底について
- P.10～11 「ひょうごの農村景観写真コンテスト」結果発表！
- P.11 協議会のロゴマークが決定しました!!
- P.12 （話題提供）ひょうご親子疏水学習会開催／ため池管理者届（変更届）の提出が必要です

明日へつなごう！！ひょうごの水土里  
～女性が活躍する魅力ある農村～

★フォーラムのダイジェスト版を動画でご覧いただけます。  
ひょうごチャンネル <http://hyogoch.jp/movie.php?id=2139>

## 第9回ひょうご 水土里のふるさとフォーラム

とき：平成28年12月10日（土） ところ：兵庫県公館

過疎化・高齢化が進み、限界集落となる地域が増え続ける昨今。農業の担い手も減少する中、未来の農業・農村を守る鍵として注目されているのが「女性」です。

今年度のフォーラムは、農村における女性の活躍をテーマに兵庫県公館にて開催し、県内外から約500名の方にお越しいただきました。



### オープニング

オープニングとして、メダカのコタロー劇団によるステージが上演され、劇団員が歌と踊りで、ため池を中心とした農村環境を守る大切さを客席と一緒に演じました。

映像では劇団が県内各地の幼稚園、小学校を巡り、そこで農村環境を守る啓発を行っている様子が映し出され、また、加西市鶴野中町環境保全隊で活躍する女性へのインタビュー映像では、女性の持つパワーを会場に印象づけました。



### セレモニー

主催者挨拶では、井戸知事から「私達は京阪神という大消費地を抱えており、消費者のニーズに応えながら、兵庫県産の食材をしっかり届けていきたい」といったお話がありました。



また、水土里ネット兵庫の西村会長からは「兵庫県は多面的機能支払の活動が全国一活発な地域で、皆さんの知恵や力が、地域の農業と食卓を支えている」といったお話がありました。



次に、平成27年度に農地・水路等の地域資源や農村環境の保全において、特に優れた取組を実施した活動組織に対して、「みどり豊かなふるさと大賞」（知事賞1地区、委員長賞4地区）の表彰が行われ、代表者に賞状と記念品が贈呈されました。



審査委員長である星野京都大学院教授からは、各受賞地区的活動を称える講評があり、今後の活動に対するエールが送られました。



★ 知事賞  
★ 委員長賞

能座地区地域資源保全隊（養父市）

★ 委員長賞

【豊かな農村環境づくり部門】

高畠地域づくり協議会（加古川市）

★ 委員長賞

【中山間】地域づくり部門

山田区環境保全推進協議会（神河町）

★ 委員長賞

【環境創造型農業部門】

坂本の自然を守る会（多可町）

★ 委員長賞

【地域農業活性化部門】

尾崎東地区協議会（淡路市）

## 事例発表

知事賞を受賞した養父市能座地区地域資源保全隊の高階氏より、活動事例が発表されました。

限界集落であり、多くの休耕田を抱えていた能座地区が、養父市の国家戦略特区の取組により、企業と一体となって酒米作りを始めた経緯とその効果をご説明いただきました。

また、女性就農者を地域で応援し、活性化につなげたいといった今後の展望についてもお話をいただきました。



事例発表



基調講演

## 基調講演「女性が活躍する地域づくり」

静岡大学教授の日詰氏による、地域づくりと女性の関わりについての講演が行われました。

「男女ともにお互いの価値観を認め合い、それぞれの得意分野を活かしながら、一緒に活動を広げていくことが大事」と提言。静岡県で女性が中心となって活動するNPO法人を例に挙げ、女性ならではの視点が加わることで、地域がどのように変化したかといったお話をありました。



## トークショー「女性がスムーズに地域社会に参加できる環境づくり」

【ナビゲーター】	ラジオ関西パーソナリティ	谷五郎
【コメンテーター】	静岡大学教授	日詰一幸
【パネラー】	環境人類学研究所代表	合田博子
	能座地区地域資源保全隊	高階博
	山田区環境保全推進協議会	藤原ゆみ江
	小束野農地・水協議会	松井尚子
(以上敬称略)		

谷氏をナビゲーターに、「活動組織における女性の役割」「女性が地域活動に参加できる環境づくり」について、意見交換が行われました。



藤原氏の地区では、「六次産業化において、女性が中心となって取り組み活躍している」といったお話をありました。



合田氏からは、「女性も裏方だけで満足するのではなく、表に出て活動してみることが大事」と女性の意識を変える必要性をご指摘いただきました。

また、日詰氏は、「組織の中で役を増やすなど、一人一人の負担を減らすのも一つの方法」と、皆が参加しやすい環境づくりを提案。



高階氏からは、「農業の機械化が進んだことで、女性も参入しやすい環境になりつつある」といったお話をありました。



松井氏からは、「活動を深く知ってもらうことが女性の参加につながると考え、地区の広報誌に多面的の活動も載せている」と実践例を挙げていただきました。



それぞれの立場から率直に意見を述べいただき、今後の地域づくりへの課題とヒントが得られたトークショーとなりました。

神戸  
地域

## 兵庫県民農林漁業祭に出展しました！

平成28年10月22日（土）に行われた兵庫県民農林漁業祭に、神戸地域から「神出東エコ農業活動組織（神戸市西区神出町東）」と「生野活動組織（神戸市北区道場町生野）」の2組織が出展しました。

毎年参加している神出東エコ農業活動組織は、野菜と新米を販売。毎年購入に来られているお客様も多く、ブースは活気にあふれ和気あいあいとした様子でした。

今年度が初出展の生野活動組織は、黒枝豆の販売と、都市農村交流のPRを行いました。お客様は黒大豆オーナーや米づくりのイベントパネルに興味津々でした。

他に出展されていた活動組織との交流も生まれ、2組織の農産物のPRができ、非常に実りのある時間になったかと思います。

西播磨  
地域

## 生きもの教室

田んぼの生き物復活作戦で、将来、農村地域を担う小学生を対象に「生き物教室」を開催しました。

この「生き物教室」では、農地をうるおす用水の自然環境を体験学習することを目的に、子どもたちと用水路の生きものを捕まえ、その後、専門家による生態系についての説明を受けました。

また、田んぼの生き物や農村情景などを地域へ情報発信するために、「生きもの教室絵画・作文コンクール」を実施して、生きもの教室に参加した児童に絵画と作文を創作してもらい、優秀な作品を表彰しました。



戸原小学校（宍粟市）



石海小学校（太子町）

生きもの教室絵画コンクール  
「光都土地改良センター所長賞特選」

東播磨  
北播磨  
地域

## 多面的機能支払 東播磨・北播磨地域 活動発表会 平成29年2月10日（金）

東播磨地域・北播磨地域の合同による活動発表会を三木市文化会館（小ホール）で開催しました。

約400名の参加者でホールがほぼ満席となり、毎年恒例の発表会が地域の活動組織に根付いてきたようです。

オープニング講演では、「女性が活躍する魅力ある農村」を目指し、実践されている加西市の鶴野中町環境保全隊の活動について、代表の尾花幸雄氏より報告をいただきました。

表彰式では、各市町から推薦された組織の中から県民局等で事前審査を行い、特に優秀な取組をされている活動組織を選定し、東播磨・北播磨県民局長賞と優秀賞を授与しました。



### 「受賞団体」

#### 東播磨県民局長賞：

江井ヶ島ため池協議会（明石市）

#### 北播磨県民局長賞：

中村農地保全協議会（多可町）



#### 東播磨県民局優秀賞：

東飯坂環境保全活動協議会（加古川市）

#### 北播磨県民局優秀賞：

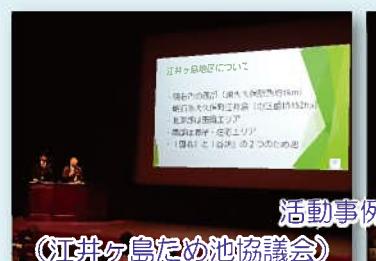
福地農地水環境保全隊（西脇市）

#### 北播磨県民局優秀賞：

南網引グリーンファーマー（加西市）

活動事例発表では、東播磨及び北播磨県民局長賞を受賞された組織の代表者から活動内容をご報告いただきました。

最後に、近畿農政局多面的機能支払推進室長の佐藤文造氏より「多面的機能支払交付金の最新の情勢について」と題し、平成29年度の予算・支払制度の概要や運用改善のポイント等の貴重なお話や、全国と兵庫県の取組状況、活動中の事故の概要と安全管理の徹底等についてご報告をいただきました。



参加者は資料を見ながら、メモを取りなど熱心に聞き入っておられました。

淡路  
地域

## 第54回淡路農林水産祭 平成29年1月15日(日)

今年度も淡路市伊弉諾神宮で淡路農林水産祭が開催され、大勢の参加者で賑わいました。

「未来へつなげ！！豊かな農村」の看板を掲げたブースでは、多面的機能支払制度、ため池のかいぼり、総合治水、人・農地プランなどのパネル展示や、田んぼダム模型の実演を行い、豊かな農村に向けた取組をわかりやすくPRしました。

また、淡路市の尾崎東地区協議会による新規就農者の受け入れや、和牛の放牧など農地を有効活用した取組が「みどり豊かなふるさと大賞」を受賞したことについて紹介しました。

多面的機能に関するクイズコーナーには、地元農業者や水産関係者、家族連れなど約400名が参加し、「淡路島に多くのため池があり驚いた！」、「ため池を守る大切さが理解できた」、「かいぼりに参加してみたい！」

などの声が聞かれ大いに盛り上がりました。



展示ブース・クイズコーナー



田んぼダム模型の実演

農地・水・環境  
保全活動

### 多面的機能の發揮

高めよう  
地域共同の力！

地域資源を次世代に引き継ぐ！

活動中

兵庫県多面的機能免査推進協議会  
兵庫県・県内各市町  
地域活動組織

### のぼりを作成しました！

今年度も多面的機能発揮ののぼりを作成しました。  
より目立つよう、昨年度までのものとカラーを変更しています。

地域の方々にも本制度をご理解いただき、より一体感を持って活動に取組めるよう、活動される際にはのぼりの設置をお願いいたします。



水田貯留「田んぼダム」ののぼりも追加作成しています。

# 平成28年度 豊かなふるさとづくり推進委員会（現地調査）

## 平成28年12月12日（月）

神河町「杉地区」（中山間地域直接支払）と市川町「浅野地区」（多面的機能支払）の取組みについて、委員の先生方と集落の代表者とで意見交換会・現地視察を行いました。

### 杉地区～棚田の管理と集落営農の取組み～

杉地区は、神河町役場（寺前）から北東に約6km、播磨但馬の国境、生野峠の南に位置しています。

昭和55年に町内第1号となる営農組合を設立し、昭和57年には地区内のほ場整備が完了して大型機械導入による農作業の効率化・低コスト化に取り組みました。

平成26年度からは、「保田ぼかし」による有機農業教室を本格開始し、平成27年度からはその「保田ぼかし」による有機稻作（コシヒカリ）に取り組み、同年9月には農事組合法人「杉営農」を設立して、今年度は1ha強を無農薬で栽培しています。

無農薬栽培は、雑草対策や農薬使用に比べて収穫が3分の2程度と、作るのは大変ですが、水田除草機などの機械を導入しながら今後も取組んでいきたいと考えています。

#### 委員会でのアドバイスなど

☆無農薬で収穫量が通常の3分の2という話があったが、玄米で買って自分で精米するような都会の人には1.5倍の価格でも売れるのではないか。がんばって作り続けてください。



意見交換会



現地での説明



「夫婦杉」  
向かって右側が夫杉、左側が妻杉

### 浅野地区～浅野の豊かな自然を明日につなぐ～

浅野地区は、市川町の真ん中に位置し、人口125名、戸数41戸の町内で最も少子高齢化が進んだ地区です。

耕作面積14haのすべてをため池で貯っており、その役割は農業用水、防火用水から治水、景観、在来動植物と共に存できる自然環境の保全へとその存在は重要度を増しており、自然豊かな当地区の根源となるため池を生かし、美味しい米作りとその後継者づくりを目指しています。

平成19年度から農地・水・保全活動に取り組みはじめ、農地・農業用施設の保全活動を経て平成26年度からは多面的機能支払交付金の長寿命化の活動にも取り組んでいます。

また、女性の集落運営への参加、集落外の人も一緒になってため池池干しや里山ハイキングなどのイベントを通じて浅野の良さを再認識してもらい、若者に定住してもらえるようになればと考えています。

#### 委員会でのアドバイスなど

☆この地区はたしかに高齢化が進む地区かもしれないが、逆に言えば若者は他のところにどんどん出ている。

そういうた浅野地区と関りのある人をターゲットにして、こちらからメール等でいろいろな情報発信をしていけば、長い目で見ると地域に戻る方にも役立つのではないか。



意見交換会



「はつのこ」（ため池の栓）



## 各種研修会を実施しました！

兵庫県多面的機能発揮推進協議会では、今年度も各種研修会の開催、支援を行ってきました。

今年度の研修は活動組織を対象に、主として「地域資源保全管理構想の作成」と「水路の簡易補修」をテーマに計23回実施しました。

地域資源保全管理構想については、昨年度に18市町、今年度には16市町（うち昨年度未実施は9市町）の活動組織を対象に研修会を行い、希望のあった市町はほぼ網羅できたのではないかと考えています。

また、今年度は活動組織だけでなく、丹波地域において市町の多面的機能支払担当者を対象に事務の研修を行いました。

来年度はこういった事務研修を、市町の新規又は2～3年程度の担当者を対象に実施していく予定にしています。



### 地域資源保全管理構想について

地域資源保全管理構想は、多面的機能支払（農地維持支払）交付金に取組む活動組織は、「地域資源保全管理構想」の策定が義務付けられています。

活動期間（5年間）内に必ずとりまとめ、各市町に提出をお願いいたします。

（期間内に出来るだけ早い提出をお願いします）

※活動期間内に策定されない場合は遡って交付金を返還する必要がありますので、ご注意願います。



## 安全管理の徹底について

### ◎多面的機能支払交付金の共同活動中に発生した事故について

多面的機能支払交付金の取組の拡大に伴い、共同活動中の事故発生件数も増加傾向にあります。

特に平成28年度は4月～12月まで、農林水産省に報告のあったものだけで36件に上っています。

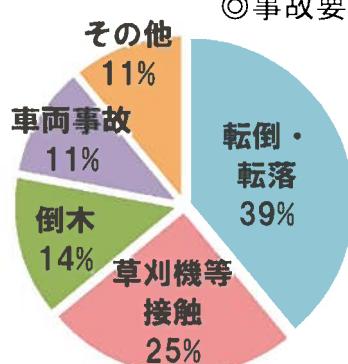
多くの事故は、草刈りや雑木伐採作業中に発生しており、36件中死亡事故が5件、骨折が13件など重大事故に至ったものが多くなっています。

また、保険に加入せずに作った作業中の事故もいまだに発生していますので、必ず保険には加入するようしてください。（保険料は交付金で充当可）



年度	事故発生件数	取組組織数	備考
24	4	18,662	
25	8	19,018	
26	15	24,885	
27	19	28,145	
28	※36	(集計中)	※4月～12月の件数

事故要因	件数
転倒・転落	14
草刈機等接触	9
倒木	5
車両事故	4
その他	4
計	36

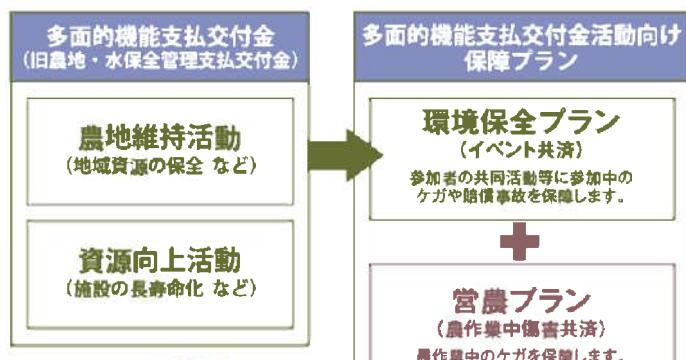


### ◎今後気をつけていただくこと

①組織の皆様が安心して共同活動に取組めるよう、傷害保険の加入をお願いします。

（例）JA共済  
多面的機能支払交付金活動向け保障プラン

②平成27年度に活動組織に配布しました「多面的機能支払共同活動の安全のしおり」や農林水産省の農作業安全対策のホームページの情報等を参考に組織内での安全対策について周知を図ってください。



※保険の詳細については、最寄のJA共済窓口にお問い合わせください。



## 「ひょうごの農村景観 写真コンテスト」結果発表！

平成28年4月5日から12月26日までの期間で、兵庫県における農村景観、田植え・収穫・草刈等の農作業風景、地域のイベント・伝統芸能などの農村生活の様子の写真を募集したところ、締め切りまでに74作品の応募がありました。

一次、二次審査を経て最優秀賞、優秀賞、入選、佳作の計10作品が決定しましたので、ご紹介いたします。  
 (敬称略)

**最優秀賞**



### 「コウノトリに見守られて！」

撮影地：豊岡市出石町室見台  
 柳原茂司

「当室見台は、江戸時代からコウノトリの（当時は鶴と呼んでいた）営巣地で大正時代には「天然記念物鶴山鶴繁殖地」の石碑が残る鶴山の麓にあり、昨今コウノトリの飛来は日常であります。特に水稻の栽培期間は、つがいでトラクターの前に来ることが多いですが、6羽も並ぶことは珍しくシャッターチャンスとしました。」

**優秀賞**



### 「秋の空」

撮影地：南あわじ市県道76号線沿い  
 梅津郁朗

「あわじ市県道76号線沿いを走行中に見かけた風景。穫り入れ後の秋空が美しかった。」



### 「レンコン収穫体験」

撮影地：たつの市御津町  
 加藤誠司

「レンコン生産が盛んなたつの市で、子供たちがレンコン収穫体験をしているところを撮影しました。」

**（入選）**



### 「棚田祭り」

撮影地：宍粟市一宮町山田  
 山口剛

「秋の取り入れも終わり、忙しい農作業も一段落した棚田の里に地元農家が楽しみにしていた棚田祭りが始まります。老若男女が揃って楽しむ秋の夕暮れです。」



### 「シート」

撮影地：加東市上久米  
 徳岡千津子

「田植え前の田んぼの中は、どろんこサッカーの戦いで熱いです。どろんこになってしまって楽しそうでみんな友達がいっぱいです。」

## 〈佳作〉



「海風を受けて育つ南あわじの野菜」

撮影地：南あわじ市百軒堀  
東良敬博

「共同作業」

撮影地：姫路市大津区勘兵衛町  
村上正幸

「麦秋の頃」

撮影地：三田市上槻瀬  
宮田敏幸

「みんなで収穫」

撮影地：多可町加美区岩座神  
岩澤敏雄

「生田大坪「中池」かいぼり～里山・里海交流保全～」

撮影地：淡路市生田大坪  
番所拡大

## 兵庫県多面的機能発揮推進協議会のロゴマークが決定しました!!

平成28年9月7日から10月14日まで、当協議会のロゴマークを募集しました。

全国から68点の応募があり、1次審査、2次審査を経て、兵庫県加古郡稲美町の鶴鷹さんの作品が採用されました。

今後は、このロゴマークを様々な機会で活用し、多面的機能支払制度の効果的な推進と更なる普及を図っていきます。

## 【決定したロゴマーク】



(デザインの趣旨)

漢字の「兵」を擬人化し、これからの未来の農村をやさしく包み込む気持ちを表現しています。

## 【ロゴマーク使用例】



協議会 封筒



第9回ひょうご  
水土里のふるさと  
フォーラム  
エコバッグ

話題提供

## ひょうご親子疏水学習会開催

兵庫県では、県民の参画と協働によるため池や疏水の保全活動を、「ため池保全県民運動」として促進しています。

その一環として、3月5日（日）、明石市立市民会館で「ひょうご親子疏水学習会」が開催され、約500人の小学生と保護者が、ため池や疏水の役割を学びました。



メダカのコタロー劇団による公演

### ため池管理者届（変更届）の提出が必要です

受益が0.5ha以上そのため池を管理している場合は、「管理者の氏名」、「受益面積」等の届出が必要です。

また、届出内容が変更になった場合、変更届の提出も必要です。役員改選等で管理者が変更となった場合など、管理者変更届の提出をお忘れなく。

★お問い合わせは、県土地改良事務所（センター）・市町へ

#### 参考（ため池の保全等に関する条例（抜粋））

平成27年3月19日 制定、平成27年4月1日 施行  
(管理者の届出)

第12条 管理者は、特定ため池を設置した場合又は管理しているため池が特定ため池に該当することとなった場合は、規則で定めるところにより、遅滞なく、次に掲げる事項を知事に届け出なければならない。

- (1) 管理者（特定ため池の管理者が複数あるときは、管理者を代表する者。次条及び第14条において同じ。）の氏名又は名称及び住所並びに法人その他の団体にあっては、その代表者の氏名
  - (2) 特定ため池の所在地及び名称
  - (3) 特定ため池による農業用水の利益を受ける農用地の面積
  - (4) 特定ため池の位置図
- 2 管理者は、前項各号に掲げる事項を変更したときは、遅滞なく、その旨を知事に届け出なければならない。

管理者の氏名	西村 太郎
管理者の住所	兵庫県明石市魚住町大字魚住字中里123
受益面積	0.000 ha
地番	明石市CCN 1-2
郵便番号	663-0000
電話番号	000-000-0000
その他	